

平成 24 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 専務執行役員 社長室長
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

細胞治療・再生医療等の先端医療技術を保有する ディナベック株式会社との戦略的パートナーシップ契約締結に関するお知らせ

当社は、この度、ディナベック株式会社（本社 茨城県、以下「ディナベック」という）と、ディナベックが所有する先端的技術を利用した細胞・再生医療等の研究開発促進を目的として、戦略的パートナーシップ契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 戦略的パートナーシップ契約の内容及び目的

当社グループでは、アジア・オセアニア地域における海外企業との提携を基に、事業活動を国内のみならず海外へも展開しております。また、事業ポートフォリオの見直しの一環として、経営資源を SMO 事業（※）に集中させ、国内における既存体制を軸に収益性の高い事業領域の拡大を進めております。

今般、当社と戦略的パートナーシップ契約を締結するディナベックは、特に、高性能かつ安全性の高いベクター技術（※）を用いた遺伝子創薬と、iPS 細胞（※）関連技術を基盤とした細胞治療や再生医療の研究開発並びに事業化を目的としております。これらの技術的成果の導出並びに開発、販売等を推進するため、当社グループが保有する国内外での医療ニーズ並びに医療機関、医師等とのネットワークを通じたノウハウを提供する事で、新たなビジネスモデルを模索してまいります。

今般の戦略的パートナーシップ契約を通じて新たな事業の柱を構築し、ディナベックの保有する遺伝子治療や細胞工学を基にした再生医療等の最先端の医療技術に、当社グループのビジネスノウハウを提供する事で、国内外におけるその臨床研究開発成果の実用化を当社グループが牽引し、医療・医薬の革新的な進歩と改革に邁進いたします。

※SMO 事業：Site Management Organization の略で、一般的に治験施設支援機関と言われ、治験を実施する医療機関と提携し、治験を実施するための院内体制整備及び治験実務を支援する事業です。

※ベクター技術：治療用の遺伝子を特定の臓器・組織に運搬し、効果的に標的細胞内へ導入する働きを持つ物質。その中でも、ディナベックが独自に開発した「センダイウイルスベクター」は、従来のベクターとは全く概念が異なり、臨床研究や動物実験を通じ安全性が高く、遺伝子医薬品やバイオ製品分野での利用に高い信頼性と実績を有しております。

※iPS 細胞：induced pluripotent stem cell（人工多能性幹細胞）であり、体細胞に特定遺伝子を導入することにより樹立される幹細胞のことで、ヒト等の動物のあらゆる組織、細胞に分化する能力を持っています。京都大学の山中伸弥教授がノーベル賞を受賞されることが決まった革新的技術です。

2. 両社の概要

(1) 商号	株式会社アイロムホールディングス 持株会社	ディナベック株式会社
(2) 主な事業内容	(SMO 事業、メディカルサポート事業、 医薬品等の販売事業を傘下に保有する。)	遺伝子医薬事業、細胞工学に基づく細胞 治療・再生医療事業、バイオ事業
(3) 設立年月日	平成9年4月9日	平成15年9月5日
(4) 本店所在地	東京都千代田区富士見二丁目14番37号	茨城県つくば市大久保6番
(5) 代表者	代表取締役社長 森 豊隆	代表取締役社長 長谷川 護

3. 業績に与える影響

当該業務提携による当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上